

Sunday

農福連携の推進に全力

広島市 公明市議が先進事業を視察



農福連携の取り組みを調査する市議会公明党のメンバー

広島市議会公明党（碓水

芳雄幹事長）は11月22日、

農福連携事業の先進事例を

調査するため、同市安佐北

区安佐町で一般社団法人・

百人邑が運営する竹坂ファ

ームを視察し、竹添寛二代

表理事と意見を交わした。

農福連携事業は、障がい

者らが農業分野で活躍の場

を広げながら自信や生きが

いを持つて社会に参画して

いく取り組み。農業現場の

労働力不足や高齢化といっ

た課題に対して、多様な担

い手の確保にもつながると

して注目されている。

同ファームは障がい者と

雇用契約を結び、就労の機

会を提供する就労継続支援

A型事業所。現在、11人の

精神障がい者が働く。「半

農×半ICT」を掲げ、菓

草や野菜など60品目の生産

管理とホームページ作成・

運営やデータ入力を行う。

生産した野菜の一般販売

のほか、市内の飲食店がフ

ームに植え付けた野菜を

管理する「企業農場」とい

った取り組みを進めるなど

して、同ファームの工賃は

月額約12万円に上る。これ

は、A型事業所の全国平均

である月額約7万9000

円を大きく上回る。

竹添代表理事は「自然と

向き合う中で、人と比較し

ない生き方を考えるきつ々

けになる。社会参画を後押

ししたい」と話していた。

視察を終え、碓水幹事長ら

は「農福連携の推進に全力

を挙げていく」と語った。